



『 ノロウィルス感染症について 』

ノロウィルスは、幅広い年齢層に急性胃腸炎を引き起こすウィルスで、感染力が強いのが特徴です。

年間を通して発生しますが、主に冬場に多発し、十二～二月にピークを迎えます。

感染の経路は、感染者の汚物による接触感染・飛沫感染、調理による接触感染、食事による感染などがあります。

感染すると、一～二日で発症し、激しい嘔吐・下痢などを引き起こし、これらの症状が一～二日続いた後で、自然に回復します。

予防策は、手洗い・加熱・消毒が主になります。手洗いは、指先や指の間など手洗いが不十分になりやすい部位を意識して丹念に洗います。

また、食品はなるべく火を通したものを食べましょう。特に貝類はしっかり中心部まで加熱調理することが、予防につながります。

その他、汚物にはノロウィルスが大量に含まれています。汚物の処理は、感染に十分に注意しながら、スピーディーかつ確実にいきましょう。

これから感染症が流行する時期です。まずは予防！万全な対策を心がけましょう。



厚生連病院 消化器内科医長
柊元 洋紀